

# みらいだより

令和5年1月5日



あけましておめでとうございます。

今年も子どもたちにとってよくあそび、よく学ぶ充実した一年でありますように、子どもたちの健やかな成長をゆったりおおらかに見守りたいと思います。昨年同様ご協力の程よろしくお願いたします。今月は、お正月あそびを中心によりよい経験をしていきたいと思います。

1月		
日	曜	行事予定
5	木	保育はじめ
10	火	個人懇談(どんぐり・たけのこ・りす・うさぎ・そら) ~2/10
14	土	保護者交流会(うさぎ) 弁当日
18	水	身体測定(どんぐり・たけのこ・ひかり)
19	木	身体測定(りす・うさぎ・そら)
21	土	保護者交流会(りす)
27	金	観音小学校見学(ひかり)
28	土	弁当日

※変更の場合あり

## 「コロナ禍」改めて考える

新型コロナウイルスへの対応(保育士のマスク着用)が続いています。コロナ禍だからこそ、今までを問う機会になり考え学びが多かったのに気付きました。

○言葉の遅れ:子どもは、言葉を耳で聞いて覚えます。言葉の遅れはみられていません。

○感情が読み取れない:子どもは、感性が鋭く相手の目を見てしっかり相手の感情を読み取っています。

○コミュニケーション能力:子どもの思いを受容・共感、安心の環境を整えることで繋がりは深まり、コミュニケーションは高くなっています。

## 保育園における虐待の防止について

保育士による虐待事件が盛んに報道されました。保護者のみなさま、保育者にも大きなショックを与える心を痛める出来事でした。

子どもの安全・安心が最も配慮されるべき保育施設において、虐待はあってはならず、改めて虐待の発生防止を徹底するため保育士虐待チェック表で確認し、職員研修で保育の在り方を再確認しました。

子どもの人権や人格を尊重し、子どもの最善の利益を実現する保育について、子どもの姿や保育を振り返り話し合いました。

- ・子ども一人ひとりの主体性を尊重し、受容的で応答的な関りを行う。
- ・子どもを一人の尊厳ある人間としてみる。
- ・「おとなが言われて嫌なこと、されて嫌なことは子どもも同じ」を指標に関わる。

※子どもの中には、様々な子がいます。子どもの思いや理由を肯定的に受け止め、「よさ」を見い出すよう職員間で保育を振り返り話し合い連携していく。子どもを一人の人として尊重して接することを職員間で再確認しました。

「火」を体験 ~火の持つ力・暖かさ・火の危険などを体感します~

### ○焼き芋会

子どもたちが、公園や山で集めた落ち葉や枝・竹でたき火をして焼き芋を焼いて食べます。ひかり組はマッチをすり、火をつける体験をしました。

### ○もちつき会

もちつきの時は、園庭で火をたいて、蒸し器でもち米を蒸しています。薪がパチパチと音を立て、木が燃えるにおいがすると「なんのにおい?」「なんの音?」、もち米を蒸らす湯気があがると「いいにおい」「おこめのにおいがする」などにおいや音で五感を刺激する貴重な非日常の体験をしました。





### どんぐり(0歳児) 「気になるなあ」

おもちゃを友だちが振ると、仰向けから寝返りをして興味津々にそのおもちゃをじーっと見つめています。友だちとの関わりも少しずつ増え、いろいろな人やモノに興味をもち、言葉や動作で表現する楽しさを知っていきます。

### たけのこ(1歳児) 「できないよ～」

友だちが上着を脱ぐのに苦戦しています。「てつだおうか?」「おねがい」「そでがぬげないよ～」てつだって欲しいところを「ここ?」と確認し、袖を引っ張ります。「脱げた。ありがとう」周囲から共感的に受け止めてもらう経験を重ねてきたからこそできるかわりです。



### りす(2歳児) 「思いの伝えあい」

けんか。思いがすれ違い、はぶてている子も。「ごめんね」「追いかけてくるのが嫌だった」「違うなら違うって言ってくればよかったじゃん」話してみると、それぞれの思いがありました。相手の思いを聴いて、折り合いをつけていきます。繰り返し経験することで、協調性やコミュニケーション能力が育っていきます。

### うさぎ(3歳児) 「力を合わせて」

焼き芋会で使う枝や落ち葉を集めています。「あっちに葉っぱがいっぱいあるよ」「いっぱいになってきた」「重たい」「濡れてない枝集めてね。濡れてたら火がつかんよ」「重たいね。わたしも手伝うよ～」焼き芋会を楽しみに、協力して集めています。



### そら(4歳児) 「約束ね」

散歩に行こうとしたら、次々とけんかが。「けんかばかりして嫌な気持ちだった」「散歩、楽しみにしていたのに」「何か、悪いことした気持ちになった」「チクチク言葉ばかりだった」「次の散歩はさ、けんかしてもすぐに話す約束しよう」「約束しよう」一人ひとりの思いを聴いて考えています。

### ひかり(5歳児) 「大切な準備」

焼き芋会で使う着火剤を、麻ひもをほどいて作ります。「竹を切ったら明日使えるね」「こっち持っとくよ」「手、気をつけてね」自分たちで協力して準備を進めていきます。「明日、ちゃんと火つけられるかね」「焼き芋できるかな」と焼き芋会への興味関心が高まっています。子どもたち自身がたのしい場をつくっています。

